

令和5年度 第2回学校評議員会並びに学校関係者評価委員会報告

1 日時 令和6年2月26日(月) 11:00~12:00 場所:あやぐも館

2 参加者

学校評議員(五十音順)

井上 恵一(野村石油(株)代表取締役)
熊谷 琢磨((有)フローラルクマガイ代表取締役)
徳村 学(西予自然牧場)
山岡 三枝(西予市野城総合福祉協会事務局長)
吉川 多賀子(まごころ銀行運営委員)

学校関係者評価委員(五十音順)

大野本 敦(西予市野村支所長)
岡部 一行(城川中学校教頭)
酒井 康次(西予市野村支所産業建設課長)
谷本 英樹(有限会社タニヤ代表取締役)
西田 卓史(野村中学校教頭)

野村高校学校職員

山下 和宏(校長)
門田 生(総務課長)
岩村 允雄(教務課長 代理)
中島 定信(生徒課長)
徳永 裕史(進路課長)
小西 真由子(学校魅力推進課長)
新 正次(農場長)
千羽 孝幸(総務課)



3 次第

(1) 開会の言葉

(2) 校長あいさつ

(3) 議題

ア 各課説明(各課長)

各課長より資料にて説明。

イ 意見交換

○学校魅力化について

- ・学校の取組の詳細がわかり、特に学校魅力化に一生懸命取り組まれていることがわかった。
- ・多様な活動で魅力ある野村高校、ずっと存続してほしいと強く感じた。また、学校魅力推進は本当に多くの活動をされていることが分かった。また、現在の2年生で県外から来た生徒はどう思っているかを知りたい。
→目の届く範囲では充実した生活を送っているのではないかと感じる。ただ、部屋の自己管理等ができていない生徒もあり、一人暮らしの生活の指導の必要性も感じている。
- ・学校見学バスツアーはどのような仕組みで開催されているのか。また、いつから開催されているのか。
→愛媛県が主催しているバスツアーであり、上限はあるものの、参加されたお子様の交通費や宿泊費分の補助が出ている。開催は、全国募集を始めた時点ですでにスタートしていたと記憶している。
- ・学校魅力化ということで県外募集もしておられる。一度入学してくれた中学校から、次代の子ども達も達がつながって進学をしていく流れを期待している。現状の少人数を逆手に取り、たとえば野村の少人数学習指導の強みとして生かしていただけたらと思う。

○畜産科について

- ・畜産科から数々の成果を収める優秀な生徒が輩出されていることが素晴らしいと感じた。今後も全国に募集をかけていただき、専門性を特化した生徒を育ててほしい。
- ・大野ヶ原のホワイトロップンについてもようやく組織化して進むようになってきた。やりがいになっていると思う。どんどんPRをしてほしい。ちょうど昨年から人口減少プロジェクトチームというものがあ、野村町の事業としては学校を残そう、という形で焦点を当てるようにした。学校のほうに協力させていただけることがあれば、ともに力を合わせていきたい。
- ・畜産科という名称についても検討していただけたらと思っている。
- ・現在の城川ファクトリーで北宇和高校出身の生徒がカレーパンを出そうとしている。野村高校も以前あやぐも（芋焼酎）を出されたと思うが、お酒だけではなく、ほかの食材もぜひ検討してほしい。

○野村高校の現状や取組について

- ・現段階での野村高校の窮状はかなりわかった。シビアに存続を考え、複数の視点から学校の充実化を図っていきたいと思う。私たちも女子寮の整備等力を入れてサポートしたいと思う。
- ・野城フレンドリースクールに参加し、非常によい経験であったと感じる。進路選択の大きな参考になったのではないかと思う。夜、ユニフォームを着た生徒がバイクに乗って帰っている様子を見ることがある。夜遅いなか帰っている様子を見ていると、安全に気を付けてほしいと思う。

- (4) 事務連絡
- (5) その他
- (6) 校長あいさつ
- (7) 閉会の言葉